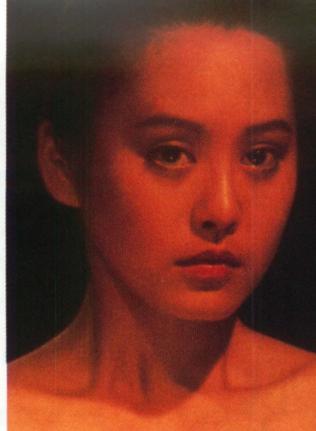


紅



紅

「双旗鎮刀客の俊英  
何平監督作品  
He Ping



1994年ベルリン国際映画祭  
青年論壇賞受賞  
1994年スペインセバスチャン映画祭出品

愛は、挑戦する。  
女だから恋した。  
男だから命をかけた。  
黄河のほとり、花火の街。  
みじかくも美しい愛のスペクタクル。

AD: MASAKATSU OGASAWARA  
DESIGN: HIROMI SUZUKI



紅

あいにれんはなび



寧靜 Ning Jing  
巫剛 Wu Gang  
趙小銳 Zhao Xiao-Rui / 高陽 Gao Yang  
徐正運 Xu Zheng-Yun / 趙亮 Zhao Lian  
巨興茂 Gen Xing-Mao  
原作=馮驥才/脚本=大廳/攝影=楊輪/音楽=趙季平  
美術=錢運蓮/録音=顧長寧・章文  
編集=袁虹  
1993年西安映画製作所・香港翁氏夥伴  
〈炮打雙燈 Red Firecracker, Green Firecracker〉  
配給: 東光徳間

紅  
RED FIRECRACKER, GREEN FIRECRACKER



●中国映画にまた一つ鮮烈な傑作が誕生美しく哀しい愛と情熱のスペクタクル!

火のついた真っ赤な爆竹の束のように、その愛は短くも強く激しく、そして何よりも美しく燃えては

# 愛は挑戦する

の大学生に最も支持された作品として各地で大ヒットを記録、すでに中国の珠海映画祭で最優秀撮影賞を受賞の他、各国の映画祭から出品依頼が殺到中だ。なお、撮影は『菊豆』共同撮影を担当、本作が初の単独撮影監督となるヤン・ルン(楊輪)。全編を包む感動的な旋律を作曲したのは『心の香り』『さらば、わが愛/霸王別姫』など、中国映画の代表作を一手に手掛ける巨匠チャオ・チーピン(趙季平)。



じける…。黄河のほとり、花火と爆竹の街で出逢った女と男。女は花火屋の老舗を仕切る男装の女主人、男は旅の絵師。許されざる恋に迷い苦しむ2人に運命は命懸けの試練を与えた。

『双旗鎮刀客』(90)の詩情豊かな力強い映像で世界中を驚嘆させた、中国で今最も注目を集める俊鋭フー・ピン(何平)監督。彼の最新作は黄河の激流と爆竹の街を舞台に、男と女の愛と情熱が火花散り、哀切漂う鮮烈なラブ・ストーリー。

痺れるほどにパワフルでスペクタクルな映像の数々、強烈なパッションと自由な精神を持ったヒロインとヒーロー、全編に漲る緊張とテンポ、それらの一つ一つが古い中国映画のイメージを払拭し、新しく希望に満ちた中国映画の時代を感じさせる。

●『双旗鎮刀客』のフー・ピン監督、全世界待望の最新作。

フー・ピン監督は、1957年北京生まれ。1980年に映画界入りし、北京青年、北京、長春の各映画製作所のスクリーンライター、助監督を経て1985年に西安映画製作所に所属。1988年に『女スパイ・川島芳子』で監督デビューした。続く『双旗鎮刀客』(90)が、92年度金鷄賞最優秀美術賞を受賞。海外でもうらやみ国際冒険ファンタスティック映画祭'92グランプリの他、数々の映画賞で絶賛され、一躍中国映画界屈指の注目監督となった。本作『哀戀花火』も、'94年ベルリン映画祭青年論壇賞を受賞し、昨年中国

●黄河のほとり、許されざる恋に命をかけた男と女。

清朝末期の中国北部、黄河のほとりに爆竹の産地として有名な街があった。春枝はその地の爆竹の生産と販売を仕切る老舗、蔡家の若き男装の女主人。彼女は男の跡継ぎのなかったその家で、幼い頃から男として育てられ経営者となることを運命づけられていた。ある冬、その街に立ち寄った旅の絵師、牛宝は蔡家に雇われ、正月用の吉祥画を描くために屋敷へとやってきた。春枝は閉鎖された屋敷の中で自由に振る舞う男らしい牛宝に魅かれ、牛宝も春枝の男装の奥に隠された女の魅力の虜となっていった。やがて、牛宝は春枝のために遠くの街で爆竹の修行を積み彼女の心を射止めると、彼女をその街から連れ出そうとする。しかし、蔡家の掟がそれを許さなかった。

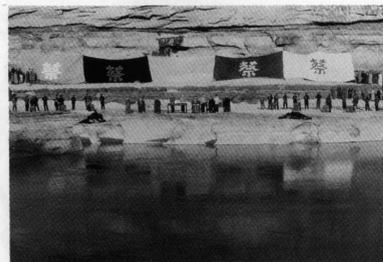
やがて、長老たちは春枝の婿を決めるために、危険なパフォーマンスを競う爆竹合戦を計画。各地から候補者を集め、黄河を望む河原でついに決戦のときは来た。牛宝はすべてを賭けて、愛と命の導火線に火を付けた……。

# 哀戀花火

何平監督作品 愛いれんはなび

'94年ベルリン映画祭青年論壇賞  
砲打雙燈  
Red Firecracker, Green Firecracker

眩しく、鮮烈で、  
限りなく美しい。  
コン・リー以来の衝撃!  
主演女優ニン・チンの  
圧倒的魅惑。  
江戸木 純



『双旗鎮刀客』の衝撃から2年、フー・ピン監督がまたやった!『風と共に去りぬ』のように、『ベルサイユのバラ』のように、今、中国映画のヒロインが力強く運命の愛に立ち向かう。

誰もが彼に、よりハードなアクションを期待していたに違いない。だが、彼の新作は何と恋愛映画。でも、これがまたくらくらするほど素晴らしい。よく考えれば、恋愛こそ最も情熱的なテーマ、彼のパワフルな演出に持ってこいの題材なのだ。彼は愛の情熱を爆竹に込め、まるで巨大な花火が夜空に炸裂するような、激しくも美しい傑作を作り上げた。その演出の充実ぶりも驚異だが、それ以上にこの映画を魅力的なものにしているのは、主演女優ニン・チン(寧靜)の存在/彼女のセンセーショナルな輝きはコン・リー(鞏俐)のデビュー時にも匹敵する。まさにこれはヘップバーンの『ローマの休日』、オリビア・ハッセーの『ロミオとジュリエット』、山口百恵の『伊豆の踊り子』…、とにかく眩しく、鮮烈で、限りなく美しい。

(映画評論家)

<スタッフ>  
監督……………何平(フー・ピン He Ping)  
製作……………陳進強(チェン・チンチャン Chan Chun-Keng)  
翁乃明(ウォン・ナイミン Yung Nai-Ming)  
原作……………馮驥才(フォン・チーツイイ Feng Ji-Cai)  
脚本……………大鷹(ター・イン Da Ying)  
撮影……………楊輪(ヤン・ルン Yang Lun)  
美術……………錢運蓮(チエン・ユンシュアン Qian Yun-Xiu)  
音楽……………趙季平(チャオ・チーピン Zhao Ji-Ping)

<キャスト>  
春枝(チュンチー)……………寧靜(ニン・チン Ning Jing)  
牛宝(ニウバオ)……………巫剛(ウー・カン Wu Gang)  
滿(マン)番頭……………趙小銳(チャオ・シアオルイ Zhao Xiao-Rui)  
老管家……………高陽(ガオヤン Gao Yang)

●配給 東光徳間/カラー・ビスタ/117分/'93年中国映画



お正月第2弾 1月14日(土)より

連日 11:45 2:00 4:15 6:30

○特別鑑賞券発売中○

1,400円

(当日/一般1,600円の処)

第七藝術劇場

THE SEVENTH ART THEATER

阪急十三駅西口、栄町商店街徒歩2分左側  
サンポートシティ6F  
☎06(302)2073

モーニングショー

[中国映画傑作選]

連日 AM10:00~ 1回上映 1,000円均一

1/14(土)~20(金)	北京好日('92) 監督:ニン・イン
1/21(土)~27(金)	五人少女天国行('91) 監督:ワン・チン
1/28(土)~2/3(金)	双旗鎮刀客('90) 監督:フー・ピン